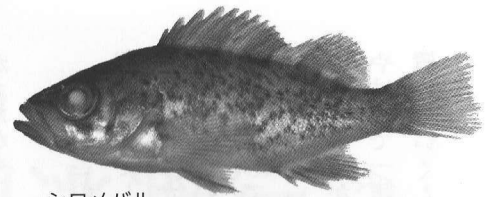
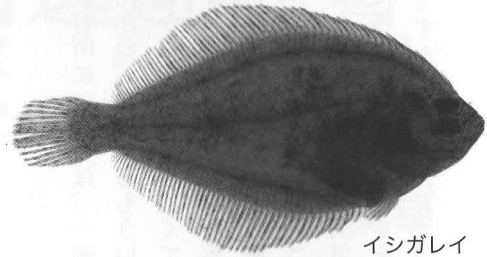




楽しみ方  
いろいろ  
谷津干潟



シロメバル



イシガレイ

## 谷津干潟にすむ魚たち

谷津干潟ワイズユース・パートナーズ  
谷津干潟自然観察センター

所長 荒尾 一樹

### ●ラムサール条約登録湿地の谷津干潟

谷津干潟は、東京湾の埋め立てが進む中、多くの人々の保護活動により残された干潟です。渡り鳥の中継地として重要であることから、1993年にラムサール条約の登録湿地となりました。国内で7番目、干潟として初の登録で、2018年に葛西海浜公園が登録されるまで東京湾唯一のラムサール条約登録湿地でした。

ところで、この干潟に何種類の魚が生息しているか知っていますか？実は魚の調査はほとんど行われておらず、詳しいことはわかっていませんでした。魚も生態系の大切な一員であり、渡り鳥だけでなく魚の調査もすることは重要です。そこで、谷津干潟自然観察センターでは2017年から調査を始めたので、見つかった魚たちを紹介します。

### ●谷津干潟はどんなところ？

谷津干潟は東京湾の奥にある周囲約3・5キロメートル、面積約40ヘクタールの生きものも大切な生態系の一員なのです。

### ●観察センターが行っている魚類調査

観察センターが定期的に行っている調査の他にも、様々な調査をしています。その一つが「トビハゼ調査」。トビハゼは昔、東京湾奥の干潟に普通にいた魚です。干潟の埋め立てなどで生息場が減ってしまい、今では絶滅危惧種になりました。観察センターは「トビハゼ保全施設連絡会」に参加し、生息調査を行っています。トビハゼが安心して暮らせる環境を保全していきたいと思っています。

もう一つが「お魚しらべ」。観察センターでは魚を調べるイベントも開催しています。2018年、2019年のイベントでは多くの親子が参加し、ボラやマハゼが採れました。今後、イベントを開催する予定です。普段、許可なく干潟に立ち入ることはできません。イベントに参加して谷津干潟の魚と一緒に調べてみませんか？

ルの干潟です。干潟に流入する川はななく、干潟の水は海水です。谷津干潟は谷津川と高瀬川で東京湾とつながっており、潮の干満とともに海水が入り、潮の干満とともに海水が入ります。それにあわせて多くの魚が谷津干潟と東京湾を出入りします。

### ●谷津干潟には何種類の魚がいる？

日本には約4200種もの魚がいます。谷津干潟とつながっている東京湾にはその内の約15%、約700種の魚がいるといわれています。谷津干潟には、観察センターの調査で53種の魚がいることがわかりました。よく見られるのはアカエイ、ボラ、スズキ、マハゼ、カレイ類など。なんと、大きなドチザメが見つかったこともあります。

### ●谷津干潟のどんなところに魚がいる？

干潟の周囲はコンクリートで護岸されていますが、護岸沿いにはヨシ原があつて魚の隠れ場となり、トビハゼなどが見られます。干潟の底の大部分は

## 谷津干潟で見つかった魚たち

1 ドチザメ	15 カダヤシ	29 シログチ	43 ヒメハゼ
2 アカエイ	16 クルメサヨリ	30 シロギス	44 スミウキゴリ
3 ツバクロエイ	17 アヤトビウオ	31 シマイサキ	45 ニクハゼ
4 ニホンウナギ	18 ウチダトビウオ	32 ノトスズミ	46 ビリンゴ
5 マアナゴ	19 ダツ	33 トサカギンボ	47 ドロメ
6 サツバ	20 シロメバル	34 イダテンギンボ	48 アカカマス
7 コノシロ	21 マゴチ	35 ミズハゼ	49 イシガレイ
8 カタクチイシ	22 イネゴチ	36 トビハゼ	50 マコガレイ
9 マルタ	23 スズキ	37 マハゼ	51 ギマ
10 ハナオコゼ	24 カンパチ	38 アベハゼ	52 カワハギ
11 ヨウジウオ	25 ヒイラギ	39 マサゴハゼ	53 クサフグ
12 ガンテンイシヨウジ	26 クロサギ	40 シモフリシマハゼ	
13 ボラ	27 コシウダイ	41 ヌマチチブ	
14 メナダ	28 クロダイ	42 ウロハゼ	